

第69回指導者会議（日本学生陸上フォーラム2023）開催のお知らせ

テーマ：学生陸上競技者および陸上競技会の国際化

プログラム1： FISU ワールドユニバーシティゲームズ (WUG) (2021/成都) の報告

中国・成都で、2023年7月27日（木）～8月8日（火）（陸上競技：8月1日（火）～8月6日（木））の日程でWUGが開催されました。本会議では、本大会にチームリーダーとしてご帯同された山下誠氏、監督としてご帯同された安井年文氏、学生総務として帯同した前幹事長の崎井優希菜氏にご登壇いただき、本大会の反省を通じて今後の課題について議論を深めたいと考えております。

本大会では、多くの学生競技者が国際競技会デビューを果たすなど、貴重な経験をしました。これまでもユニバーシアードの報告や課題を検証する作業は、本会議において議題にされてきました。これらの内容を参照しつつ、本大会の検証と今後の課題を検討したいと考えております。

プログラム2： ワールドランキングコンペティションへの申請上の留意点

2023年1月より、ワールドアスレチックス（以下、WAと略す）にて、ワールドランキングコンペティション（以下、WRkと略す）制度がスタートしました。事前に申請した競技会のみ、WAのワールドランキングおよび国際大会の参加標準記録の対象とする制度です。日本学生陸上競技連合の関連競技会、および大学主催の競技会においても、WRkへの申請がなされています。本会では、関根春幸競技委員長にご登壇をいただき、WRk申請上の留意点についてご指導をいただきたいと思いますと考えております。また、関根委員長より、WAワールドランキングの獲得に向けたご指導もいただけることになっております。

過去6回の指導者会議のテーマ等は次の通りでした。

- 第68回 学生陸上競技の指導者に求められる資質および能力を考える
- 第67回 コンプライアンス研修会：指導者や競技者等のコンプライアンスについて考える
- 第66回 プログラム1（報告）：第30回ユニバーシアード競技大会（2019/ナポリ）の報告
プログラム2（フォーラム）：今後の実学対抗戦のあり方を考える—検証と課題—
- 第65回 新型コロナウイルス感染症拡大防止の視点から中止
- 第64回 個人選手権大会のあり方を考える—検証と課題—
- 第63回 ユニバーシアード競技大会台北2017の検証と今後の課題

各演者には検証の視点（注1）と資料（注2）を参考にして発言してもらいます。また進行についてはフロアも含めて活発な意見交換の場になるように努めます。

注1）プログラムⅠ：検証の視点：演者の発表内容や資料、代表選手を対象としたアンケート結果（幹事長）

注2）プログラムⅡ：資料：WAワールドランキング制度（WAポイント・ランキング制度）、本連合主催競技会におけるワールドランキングコンペティション（WRk）への申請について 等

記

1. 主 催 公益社団法人日本学生陸上競技連合
2. 日 時 2024年(令和6年)3月2日(土) (理事会終了後 15:00～)
3. 会 場 TKP 新宿カンファレンスセンター ホール4D
4. タイムテーブル
 - 15:00～15:15 受付
 - 15:15～15:20 開会挨拶(会長)、提案趣旨(阿保委員)
 - 15:20～15:50 プログラム1(FISU ワールドユニバーシティゲームズ 2021 成都の報告)
 - 15:50～16:05 ディスカッション 質疑
 - 16:05～16:35 プログラム2(ワールドランキングコンペティションへの申請上の留意点)
 - 16:35～16:50 ディスカッション 質疑
 - 16:50～17:00 まとめ(滝川委員 オンライン)、閉会挨拶(専務理事)
5. 開催方法(対象): 対面(理事会関係者)、Zoom(強化委員、競技委員、WRk申請を検討する大学関係者)
 - 参加 Zoom ミーティング
 - <https://us06web.zoom.us/j/89501907194?pwd=PmsMxpaBuEo4xKxkUoni4LGOXzw0wy.1>
 - ミーティング ID: 895 0190 7194
 - パスコード: 267932
6. 司 会 船原勝英氏(元共同通信スポーツ企画室長、本連合:倫理委員長・指導者会議運営委員)
7. 演者(順不同) プログラム1 山下 誠 氏(本連合常務理事 WUG陸上競技チームリーダー)
 - 安井 年文 氏(本連合理事 強化委員会委員長 補佐 WUG 陸上競技監督)
 - 崎井 優希菜 氏(本連合 前幹事長)プログラム2 関根 春幸 氏(本連合常務理事 競技委員会 委員長)

以上